アサザ　*Nymphoides peltata* (S.G.Gmel.) Kuntze

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 4、生育環境階級 3、人為圧階級 3、固有性階級 2、総点 15。全国的に減少傾向の著しい水草で、愛知県では生育地も個体数も極めて少ない。

【形　態】

多年生の水草。根茎は泥の中を長くはい、長い水中茎を出す。葉は長い柄があり、葉身は水面に浮かび、卵形または円形、直径 5～10cm、辺縁には通常波状の歯牙があり、表面は緑色、裏面は紫褐色、基部は深く湾入し、葉柄はやや楯状につく。花期は 6～8 月、花は水上に出て開き、長さ 3～12cm の柄があり、花冠は黄色で直径 3～4cm であるが、愛知県の自生集団ではまだ開花が確認されていない。

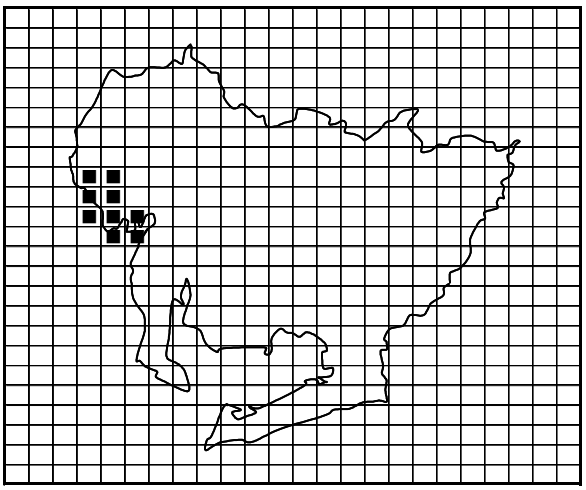
【分布の概要】

【県内の分布】
尾：58b 弥富（芹沢 81746, 2007-7-13）。1 カ所に生育しているだけである。東：2 豊根（芹沢 91492, 2016-9-11）、西：29 岡崎北部（杉田一記 2256, 2011-9-9）、30 岡崎南部（芹沢 87337, 2011-9-11）、37b 尾張旭（村松正雄 25263, 2010-7-10）、51 名古屋南東部（天白区島田町, 芹沢 88052, 2012-10-8）などにも生育しているが、これらの多くはよく開花し、移入と思われる。

【国内の分布】
北海道、本州、四国、九州。

【世界の分布】
ユーラシアの温帯に広く分布する。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

平野部の池沼に生育する浮葉植物である。愛知県では流れのゆるい水路に生育している。

	山 地	丘 陵	平 野	海 浜
森 林				
草･岩				
湿 地				
水 域			○	

【現在の生育状況／減少の要因】

範囲は限られているが、そこでは比較的繁茂している。過去には水の汚染等によって激減したと思われるが、多少回復傾向にある。

【保全上の留意点】

生育地の水質の維持に努めることが必要である。水面に浮かぶ邪魔な草と思われる可能性もあるので、保全上重要な植物であることを多くの人に知ってもらうための施策も必要である。

【関連文献】

保草本Ⅰp.213, 平草本Ⅲp.36, 平新版 5 p.196, SOS 旧版 p.72.
角野康郎. 1994. 日本水草図鑑 p.140. 文一総合出版, 東京.